



世界の航空産業は急成長を遂げる経済と好調な旅行動向に乗じた格安航空会社の急増に後押しされて成長を続けています。多くの企業にとって、乗客の増加は直接的な収益源です。しかし、この産業には重要な役割を果たすもう一つの分野があります。それは整備・補修・点検(MRO)と呼ばれる分野で、機体MRO、部品MRO、エンジンMROなどから成ります。あらゆる乗り物と同様に、飛行機も定期的な整備と補修を必要とします。

現在、MRO市場におけるタイのシェアはシンガポールやマレーシアなどの近隣諸国と比較して非常に低い水準にあります。これは

最先端技術を備えたMROセンターを開設し、タイのMRO効率を最大化することを計画しています。

しかし、MROエンジニアとメカニックを訓練して養成し、国際的なMRO訓練プログラムに基づいた資格を確実に保有させる方法に関して多少の懸念があります。これらのプログラムの例としては、米国連邦航空局(FAA)や欧州航空安全機関(EASA)が実施しているものがあります。MRO事業はエンジンの点検や性能試験を担当する有資格のエンジニアとメカニックに依存します。また、

これらのエンジニアや技術者には高い語学力も必要です。この産業における需要を高めるためにFAAとEASAの基準に従った熟練労働者を生み出す学習エコシステムを創るには公的機関と民間部門、そして教育機関も加えての協力が不可欠です。

第3の商業サービス用空港としてのウタパオ空港の開発とEEC空港都市プロジェクトはMRO企業にとって重要な機会となり、タイの産業競争力を一層高める上でも役立つ可能性があります。整備と補修のために飛行機を海外に送る費用が削減されます。また、より多くの外国投資を引き付けて、タイがこの地域における航空ハブとなる可能性も高まります。(2018年10月25日)

過去において、タイのMRO産業は外国人の株式保有制限等の規制、航空産業に関する不明瞭な政策による投資家の信頼喪失、熟練労働者の不足など、数多くの課題に直面してきました。政府はこれらの問題を克服するために共同投資に関する法規制を改正し、新たなSカーブ産業に航空産業を追加しました。また、BOIを通じてイースタン・エアポート・シティ(EEC)に関する投資奨励策を実施しました。さらに政府は世界的な航空機メーカーと協力して



このように語っています。「私たちは2019年に一段と高度な成長を実現する計画です。世界経済は減速に向かう可能性がありますが、私たちは楽観的な見通しを持っていきます。実のところ、マクロ経済の主要リスクのいくつかは当グループにとってビジネス機会となる可能性があります。中国と米国間の貿易摩擦により自動車、エレクトロニクス、機械設備など複数の業種で貿易と投資がタイとベトナムを向けられるため、当グループの事業にプラスの影響を及ぼす可能性があるのです。実際にWHAの工業団地ではすでに中国からの投資と問い合わせが急増しています。」

ジャリール氏は次のように語っています。「私たちが2019年に一段と高度な成長を実現する計画です。世界経済は減速に向かう可能性がありますが、私たちは楽観的な見通しを持っていきます。実のところ、マクロ経済の主要リスクのいくつかは当グループにとってビジネス機会となる可能性があります。中国と米国間の貿易摩擦により自動車、エレクトロニクス、機械設備など複数の業種で貿易と投資がタイとベトナムを向けられるため、当グループの事業にプラスの影響を及ぼす可能性があるのです。実際にWHAの工業団地ではすでに中国からの投資と問い合わせが急増しています。」

ジャリール氏は次のように述べています。「弊社ではWHA工業団地での天然ガス供給サービスが好ましいビジネスであることを確信しています。なぜなら、天然ガスはクリーンなエネルギーで価格も妥当だからです。天然ガスは現在および将来にわたって重油や軽油に代わる主要な工業用エネルギーとなります。これに加えて、天然ガス供給サービスは道路輸送のリスクを軽減し、地域の交通量を減らします。天然ガスは非常に安全に輸送できます。さらにNGD2のパイプラインシステムはPTTのメインの天然ガス・パイプラインシステムに接続されているため、顧客のエネルギー消費の安定性を高めます。またWHA工業団地の入居企業は大多数が長期的投資を行う大手製造企業です。こうしたことから、天然ガス供給サービスは顧客のエネルギー需要の将来的な増大に十分対応できます。

WHAグループは2019年1月30日バンコクWHAグループは2019年度の事業計画を明らかにしました。同計画は4つのビジネス・ハブで飛躍的な成長を目指すものとなっており、収益と分配金の成長率を70%以上と予測しています。物流事業では20万㎡の高級物流施設が追加され、REETを通じて57億5,000万バートの資金調達が行われます。工業開発事業では1,600ライ*の用地販売が見込まれ、公共インフラサービス・発電事業では産業用水が1億2,000万㎡、発電設備容量570MWに達します。また、デジタル・プラットフォーム事業ではグループの全工業団地を完全にデジタル化する取り組みが進められます。(*1ライ11600平方メートル)

WHAグループが2019年の飛躍的な成長を予測

2019年1月30日バンコクWHAグループは2019年度の事業計画を明らかにしました。同計画は4つのビジネス・ハブで飛躍的な成長を目指すものとなっており、収益と分配金の成長率を70%以上と予測しています。物流事業では20万㎡の高級物流施設が追加され、REETを通じて57億5,000万バートの資金調達が行われます。工業開発事業では1,600ライ*の用地販売が見込まれ、公共インフラサービス・発電事業では産業用水が1億2,000万㎡、発電設備容量570MWに達します。また、デジタル・プラットフォーム事業ではグループの全工業団地を完全にデジタル化する取り組みが進められます。(*1ライ11600平方メートル)

WHAグループは過去数年間に業界のリーダー企業との間で多数の戦略的パートナーシップを構築しました。例えばEECで新たな工業団地を開発するためにIRPCと合弁会社を設立し、当グループの工業団地3カ所での天然ガスの供給をめぐってガルフ、三井、東京ガスの各社と合弁会社を設立しました。また、Eコマースパークの開発で世界的Eコマース大手企業数社と協力しているほか、他のいくつかのプロジェクトも進行中です。

WHAUPがGULF- MITGと提携してWHA イースタン・シーボード工業団地2で天然ガス供給サービスを開始し、EECの工業成長に対応すべく2019年中に次期プロジェクトを準備



バンコク-WHA ユーティリティーズ・アンド・パワー株式会社(WHAUP)はGULF-MITGと提携し、EEC地域において天然ガス供給サービス「WHA イースタン・シーボードNGD2プロジェクト(WHANGD2)」を開始しました。WHAUPのウィサート・チュンワタナCEOはWHANGD2の最初の顧客企業が1日当たり100MMBTUを消費すること、およびWHAUPが2019年内にもう1件のプロジェクトを開始する準備が整っていることを明らかにしました。同氏は天然ガス供給サービスが長期的な事業成長をもたらすことを確信していると述べました。一方、GULF社のユバビン・ワンウィワット上級執行副社長はWHANGD2の天然ガス供給能力が年間2兆BTUであり、2番目のプロジェクトを2019年4月までに開始する計画であることを明らかにしました。WHA ユーティリティーズ・アンド・パワー株式会社

(WHAUP)のウィサート・チュンワタナ最高経営責任者はWHA イースタン・シーボードNGD2プロジェクト(WHANGD2)が2018年12月1日から本格開業し、WHA イースタン・シーボード工業団地2の最初の顧客企業に天然ガスの供給を開始したことを明らかにしました。これは大手エネルギー企業であるWHA ユーティリティーズ・アンド・パワー株式会社(WHAUP)、ガルフ・エナジー・ディベロップメント株式会社(GULF)、およびMITG(タイランド)株式会社(MITG)がGULF WHA MT ナチュラル・ガス・ディストリビューション株式会社(「Gulf WHA MT」)という名称の合弁会社(JV)の下で行う共同事業の1件目のプロジェクトです。同事業は東部経済回廊(EEC)内のチョンブリ県シラチャにあるWHA イースタン・シーボード工業団地2に入居する工業ユーザーのエネルギー需要を支えるために天然ガス供給サービスを提供するものです。ガルフ・エナジー・ディベロップメント株式会社(GULF)のユバビン・ワンウィワット上級執行副社長は同プロジェクトの初期投資額が約1億9,800万バートであると述べました。同プロジェクトの天然ガス供給能力は年間2兆BTUとなっています。同社はPTT株式会社との間で10年間のガス売買契約を締結し、顧客企業との間でも10年間のガス売買契約を締結しました。いずれの契約も10年毎に更新可能です。WHANGD2プロジェクトはすでにエネルギー規制委員会より天然ガス小売免許と天然ガス輸送免許を取得済みです。ユバビン氏は次のように述べています。「WHANGD2プロジェクトはGulf WHA MT JVがCODを実現する初めての天然ガス供給プロジェクトです。2番目のプロジェクトは現在建設作業が進行中で、計画通りに2019年4月にCODを開始する見込みです。

また、他の新規プロジェクトも予定されており、具体化を検討中です。ウィサート氏はWHANGD2の天然ガス供給サービスが公共インフラサービスおよび電力供給サービスを拡大する戦略に沿ったWHAUPの第3の事業であることを付け加えました。最初の顧客企業はSAIC モーター CP 株式会社で、当初の段階は1日当たり100MMBTUのガスを使用します。現在、WHA イースタン・シーボードNGD4プロジェクト(WHANGD4)の建設作業が進められており、2019年第1四半期内に完成する見込みです。また、Gulf WHA MT JVはWHA イースタン・シーボードNGD3プロジェクト(WHA NGD3)の実現可能性調査と環境影響評価(EIA)を実施中で、2019年内に結果が判明する見通しです。すべてのプロジェクトはEECの工業成長のためにサービスを提供することを目指しています。ウィサート氏は次のように述べています。「弊社ではWHA工業団地での天然ガス供給サービスが好ましいビジネスであることを確信しています。なぜなら、天然ガスはクリーンなエネルギーで価格も妥当だからです。天然ガスは現在および将来にわたって重油や軽油に代わる主要な工業用エネルギーとなります。これに加えて、天然ガス供給サービスは道路輸送のリスクを軽減し、地域の交通量を減らします。天然ガスは非常に安全に輸送できます。さらにNGD2のパイプラインシステムはPTTのメインの天然ガス・パイプラインシステムに接続されているため、顧客のエネルギー消費の安定性を高めます。またWHA工業団地の入居企業は大多数が長期的投資を行う大手製造企業です。こうしたことから、天然ガス供給サービスは顧客のエネルギー需要の将来的な増大に十分対応できます。

タイのビジネスリーダーが WHA インダストリアルゾーン1 - ゲアンに高い関心 新たな投資機会を求めて



去る2月に、タイのタイ・サンラット駐ベトナム大使閣下とタイ投資委員会（BOI）の職員がビジネスリーダーと投資家の代表団と共にベトナムを訪れ、ゲアン省で開催された「Meeting with Investors at Lunar New Year 2019」と題する会議に出席しました。

このBOI調査訪問により、参加者はゲアン省におけるビジネスと投資の機会を視察できました。メインプログラムの一つは最先端の工業ゾーン、WHAインダストリアルゾーン1 - ゲアンの訪問でした。同工業ゾーンは工業用地、倉庫、産業ユニット、および優れた設計の賃貸用工場を国内と海外の投資家に提供します。初期投資額1億ドルが投じられた「WHAインダストリアルゾーン1 - ゲアン」フェーズ1は、プロジェクト全体で計画されている総開発面積3,200ヘクタールのうち498ヘクタールを対象で、建設および開発作業が順調に進んでいます。すでに最初の入居



企業の受け入れ態勢が整っており、自動車、繊維、エレクトロニクス、消費財製品、物流およびその他多数の様々なセクターの企業が入居を開始する見込みです。訪問団一行は、プログラムの一環としてロイヤル・フーズ社の製造工場を訪問して詳細にわたる見学を行ったほか、その他多数の場所を訪れました。



2019年には目覚ましい業績を実現できるものと確信しています。30%を超える好調なEBITDAマージンと有利子負債が1.1未満の健全なバランスシートにより、収益と分配金が前年比70%以上の伸びを示す見通しです。当グループは現在、自信と誇りを持って将来を見据えることができる発展段階と規模に達しています。私たちはあらゆる状況で解決策を見つけ、当グループの顧客、ビジネスパートナー、そして従業員と共に会社を成長させる力と能力を備えています。」



去る2月にベトナムのゲアン省で「Meeting with Investors Conference at Lunar New Year 2019」と題する会議が開催され、ベトナムのグエン・スアン・フック首相が議長を務めました。この会議には同省政府の最高幹部のほか、国内外のビジネス界から700名余りが参加し、ベトナム中央部に位置する同省の特色と長所、および投資を検討している企業家にとってのビジネス機会に関する講演や討議が行われました。



ゲアン省はベトナム中央北部の戦略的な立地条件に恵まれた魅力的な投資先として投資家の間で人気が高まっています。同省では以下のような特徴があります。

ゲアン省はベトナム中央北部の戦略的な立地条件に恵まれた魅力的な投資先として投資家の間で人気が高まっています。同省では以下のような特徴があります。

ゲアン省はベトナム中央北部の戦略的な立地条件に恵まれた魅力的な投資先として投資家の間で人気が高まっています。同省では以下のような特徴があります。

ゲアン省はベトナム中央北部の戦略的な立地条件に恵まれた魅力的な投資先として投資家の間で人気が高まっています。同省では以下のような特徴があります。

ゲアン省はベトナム中央北部の戦略的な立地条件に恵まれた魅力的な投資先として投資家の間で人気が高まっています。同省では以下のような特徴があります。

デビッド・ナードン氏が ベトナムへのWHAの強力なコミットメントを改めて表明 ゲアンでの投資家会議において

及ぶ工業用地の開発が計画されていますが、フェーズ1ではそのうち498ヘクタールの開発が進んでおり、間もなく世界水準の施設とサービスの提供が開始されます。1つ目のエリアはすでに様々な業種の入居企業を迎え入れる準備が整っています。



WHAインダストリアルゾーン1 - ゲアンでの操業に適すると考えられる産業分野は以下のとおりです。

WHAインダストリアルゾーン1 - ゲアンでの操業に適すると考えられる産業分野は以下のとおりです。

WHAインダストリアルゾーン1 - ゲアンでの操業に適すると考えられる産業分野は以下のとおりです。

賃貸工場

企業家にとって手軽で柔軟性の高い選択肢

タイにおける事業の立ち上げや拡張に高い関心を示す国内と海外の投資家は年を追うごとに増えています。企業家がタイを選ぶ理由は、国内市場だけでなく東南アジアや世界のその他の地域の急成長市場にアクセスできることにあります。

しかし、新たな地域や国における事業展開の初期段階では非常に困難な問題が発生することがあります。「究極のソリューション・パートナー」をモットーとする WHA インダストリアル・ディベロップメント社 (WHA ID) は賃貸工場 (RBF) を提案することによって、この問題に対処します。RBF は以下の3つのカテゴリーに分けられます。



連棟の工場 (500~2,500㎡)

製造業や研究開発 (R&D) などの産業用サービスに最適です。

賃貸工場はお客様に最大限の柔軟性を提供します。妥当な初期費用で迅速な市場参加が可能になることに加えて、一般ゾーンと免税ゾーンのある WHA ID の世界水準の工業団地は入居企業に様々なメリットをもたらします。

例えば、自動車産業で成功を収めている WHA 工業団地入居企業のうち、Futuris 社や SAIC 社はタイで事業を開始するにあたって WHA

一戸建て工場 (2,500~9,900㎡)

柔軟性が非常に高く、将来的に製造業務を中断することなく施設の拡張が可能です。

の賃貸工場を利用し、その後 WHA 工業団地内の大規模な製造工場に移転されました。

この RBF は現在、急速に開発が進んでいる東部経済回廊 (EEC) の地域内または近隣にあり、ウタパオ空港とスワンナプーム空港、レムチャバン深海港も近距離にある WHA の工業団地でご利用いただけます。

専用工場 (7,000~10,000㎡)

WHA のエンジニアリング/設計チームと密接に協力しながら建物を建設することができます。

弊社の顧客開発チームは英語、中国語、日本語が堪能なスタッフが揃っており、工業開発分野における WHA の 30 年以上の経験を生かして、お客様の初期投資や事業拡張計画のご相談に対応しております。

弊社の賃貸工場についての詳細は———
電子メール (marketing@wha-group.com) または電話 (02 719 9555) にてお問い合わせください。

物流ハブ
注文建築様式の物流施設という新たなコンセプトを 2003 年に考案して市場を牽引するタイのリーディングカンパニー。

デジタル・ハブ
多国籍企業とタイ企業を対象として総合的なデータソリューションとデジタルプラットフォームを提供。

工業団地
2008 年以来市場シェア第 1 位を維持しているタイ随一の工業団地。
様々な業種の企業が集積する EEC (東部経済回廊) エリアに 9ヶ所の工業団地を開発。

インフラ・電力ハブ
世界の著名な電力会社と提携を結び発電、その他のインフラを工業団地入居企業に提供するサービスプロバイダー。

WHA グループ…
完全に統合された物流と工業団地の開発を担う、究極のソリューション・パートナー

Email: marketing@wha-group.com
Tel. +66 (0) 2 753 3750, +66 (0) 2 719 9555
www.wha-group.com, www.wha-industrialestate.com

WHA CORPORATION PCL.

タイの副首相は 2018 年における投資恩恵申請の合計額が当初の目標額を 25% 上回り 9,017 億 7,000 万バーツにのぼったことを明らかにしました。EEC 内の投資申請は 6,800 億バーツを占めました。最も規模の大きい投資プロジェクトは石油化学と電気自動車 (EV) 生産の分野でした。

ソムキット・チャトウスリピタク副首相は 2019 年の投資奨励政策に関する投資委員会 (BOI) とのミーティングの後で、BOI が昨年 1,626 件の投資申請プロジェクトを受け入れ、投資合計額が 9,017 億 7,000 万バーツにのぼったことを明らかにしました。申請件数と投資額はいずれも 2017 年の実績を超えており、増加率はそれぞれ 3%、43% でした。

また、2018 年の申請額は設定されていた目標額 7,200 億バーツを 25% 上回りました。申請プロジェクトの 84%、合計投資額にして 7,580 億バーツはターゲット産業のものでした。この金額のうち 5,390 億バーツは 5 種類の新たな S 字型産業、すなわちデジタル、医療ハブとバイオ燃料、ロボティクスとオートメーション、および航空分野への投資でした。

第 1 次 S 字型産業分野には合計 2,190 億バーツが投資されました。この分野には農業とバイオテクノロジー、電気製品と電子製品、自動車と自動車部品、観光、食品加工が含まれます。BOI のドゥアンチャイ・アサワチンタット事務局長は、2019 年に BOI は国内の付加価値を高めて高度なテクノロジーの導入に役立つ投資を対象としたマーケティング活動への注力を継続すると述べました。これらの投資を引き付けるために一連の支援対策が講じられています。重要な対象地域である日本、中国、香港、台湾、韓国、米国および欧州では FDI を呼び込むための積極的な活動が企画・実施されます。

出典: 本記事は 2019 年 1 月 10 日に www.boi.go.th にて発表されたものです。



BOI の 2018 年度投資恩恵申請合計額が目標額を 25% 上回る 9,000 億バーツ超で新記録を更新

ヘマラートニュースダイジェスト

WHAグループ

WHAグループ会長が 2018年度マヒドン・タヤコーン・アワードを受賞

タイにおける完全に統合された物流と工業団地、公共インフラサービスおよび電力とデジタル・ソリューション業界のビジネスリーダー、WHA コーポレーション株式会社のジャリーポーン・ジャルコンサクン会長兼グループ CEO は先日、傑出した卒業生に贈られる 2018 年度マヒドン・タヤコーン・アワード (Mahidol Thayakorn Award) を受賞しました。今回の受賞は、同氏がタイの工業部門発展のために果たした役割、極めて優れたリーダーシップおよび社会貢献が認められたものです。授賞式はマヒドン王子殿下の名称授与 50 周年および創立 131 周年を記念する式典に併せて行われました。



WHAグループが投資家と懇談

WHA コーポレーション (WHA グループ) のジャリーポーン・ジャルコンサクン取締役会長兼執行委員会委員長 (右側) は 2018 年度決算報告の後でアッタウィット・チャルムサブパヤコーン最高財務責任者 (左側) と共に投資家、アナリストおよび報道関係者への情報提供を行いました。WHA グループはタイにおける物流、工業団地、公共インフラサービス、デジタル・プラットフォームを含むエネルギーの各分野をリードする開発会社です。WHA グループはタイ証券取引所において、4 種の事業部門の 2019 年度収益と利益配当で 70%以上の成長を目標とすることを明らかにしました。



WHA経営陣がアナリストと懇談して 2018年の好業績について説明

WHA コーポレーション (WHA グループ) のジャリーポーン・ジャルコンサクン取締役会長兼執行委員会委員長 (中央) は著しい成長を達成した 2018 年の決算報告を行った後で、WHA インダストリアル・ディベロップメント社のデビッド・ナードン工業団地事業・海外投資担当業務執行取締役 (左側) と WHA グループのアッタウィット・チャルムサブパヤコーン最高財務責任者 (右側) と共にアナリストとの懇談を行いました。WHA グループはタイにおける物流、工業団地、公共インフラサービス、デジタル・プラットフォームを含むエネルギーの各分野をリードする開発会社です。WHA グループはシェラトン・グランデ・スクムヴィットホテルにおいて、経済の拡大と政府の投資奨励政策をサポートするこれら 4 事業の投資計画を発表しました。ものです。



Industrial Development

米大使館経済部の職員が ESIE (ラヨーン) とWHA ESIE 1を訪問

在タイ米国大使館経済部の職員がタイの自動車産業クラスターとして知られているイースタン・シーボード工業団地 (ラヨーン) とWHAイースタン・シーボード工業団地1を訪れました。一行はWHAコーポレーション株式会社のシヤバス・チャンタチャイロート法人マーケティング部長 (左から3人目) の案内で工業団地内を見学しました。両工業団地を訪れたのは、経済担当参事官の Douglas J. Apostol氏 (中央右側)、経済部事務官のMatthew A. Fullerton氏 (右から2人目) および経済専門官のNopparat Chaichalearmongkol氏 (右端) です。これらの工業団地にはゼネラルモーターズ、フォード・モーターなどの米国の大手自動車メーカーの他、様々な業種の主要企業が入居しています。



WHAインダストリアル・ディベロップメント社が CLMV諸国からの訪問団を歓迎

CLMV諸国の政府職員一行が「メコン河流域諸国のASEAN経済共同体 (AEC)への投資促進」と題するワークショップのためにタイを訪問し、WHAインダストリアル・ディベロップメント株式会社のスワッド・キッソポン・シニアマネージャーによる歓迎を受けました。このプロジェクトはタイ投資委員会 (BOI)、タイ国際開発協力機構 (TICA) および日本国際協力機構 (JICA) の協力により開催されるものです。一行はEECに位置するイースタン・シーボード工業団地 (ラヨーン) とWHAイースタン・シーボード工業団地1 (WHA ESIE 1) から成るタイの自動車産業クラスターの総合的な見学を行いました。



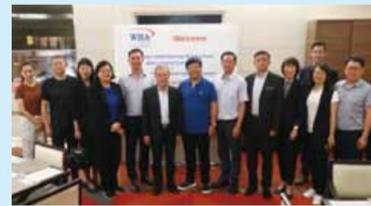
WHAインダストリアル・ディベロップメント社が 浙江省の経済界代表団を歓迎

中国国際貿易促進委員会、浙江省委員会により率いられた浙江省の政府職員と起業家の一行がタイを訪れ、WHAインダストリアル・ディベロップメント株式会社のラッダ・ロジャナウィライウッド工業団地顧客開発担当副社長 (前列右から4人目) とWHAコーポレーション株式会社のシヤバス・チャンタチャイロート法人マーケティング部長 (前列右から5人目) による歓迎を受けました。一行はWHAチョンブリ工業団地2とWHAイースタン・シーボード工業団地2からなる自動車産業クラスターの見学を行いました。この訪問はタイにおける投資機会を模索し、中国とタイとの経済協力を促進することを目的として実施されたものです。



昆明からの自動車産業クラスター視察団が WHAグループを訪問

WHAグループは先日、昆明総合保税税区管理委員会の代表団による訪問を受けました。同代表団にはEECの調査訪問を目的とする投資家も同行していました。一行はイースタン・シーボード工業団地 (ラヨーン) とWHAイースタン・シーボード工業団地1から成るタイの自動車産業クラスターを訪れ、WHA経営陣の案内により全入居企業が利用可能な世界水準の施設やサービスを見学しました。



写真は、昆明からの訪問団を歓迎したWHAインダストリアル・ディベロップメント株式会社のウィット・ジラティカーンサクン工業・海外担当最高執行責任者 (左から6人目)、WHAコーポレーション株式会社のジャクリット・チャイサニット共同最高執行責任者 (左から5人目)、WHAインダストリアル・ディベロップメント株式会社のラッダ・ロジャナウィライウッド工業団地顧客開発担当副社長 (左から4人目) とWHAコーポレーション株式会社のシヤバス・チャンタチャイロート法人マーケティング部長 (右から4人目)。

広東大学の教授が WHA CIE 2とWHA ESIE 2を訪問

広東大学の副学部長を務めるHe Chen準教授 (中央) がタイのEECにある自動車産業クラスターを訪問し、WHAインダストリアル・ディベロップメント株式会社のラッダ・ロジャナウィライウッド工業団地顧客開発担当副社長 (左側) とファサイ・フィン法人マーケティング・マネージャー (右側) による歓迎を受けました。Chen準教授は近年における中国からタイへの投資に関する研究に役立てることを目的として、WHAチョンブリ工業団地2 (WHA CIE2) とWHAイースタン・シーボード工業団地2 (WHA ESIE 2) を見学しました。



WHA UP

WHAUPが501.6KWのソーラー発電設備設置で 日立物流タイランドと提携

WHA ユーティリティーズ・アンド・パワー株式会社 (WHAUP) のウィサート・チュンワタナ最高経営責任者 (中央左側)、日立物流 (タイランド) 社の永野光鹿社長 (中央右側) とクライサク・ロジャナプラサート物流事業ゼネラルマネージャー (右端) は先日、日立物流 (タイランド) 社の倉庫 (面積 5,448 m²) の屋根に 501.6KW のソーラー発電設備を設置することで覚書 (MOU) を取り交わしました。日立物流 (タイランド) 社は日本の大手物流サービス企業、日立物流の子会社です。このソーラーシステムは日立物流 (タイランド) 社の現在の電力消費量の 21.3% を供給する見込みで、CO2 排出量を年間約 350 トン削減する効果があります。日立物流 (タイランド) 社へ供給される電力は年間約 70 万 KW 時です。稼働は 2019 年 4 月に開始される予定です。これは WHA グループと日立グループの長期にわたるビジネス・パートナーシップの一環です。このパートナーシップにより深い信頼関係が築かれ、専用倉庫に関する適切な物流サービスが提供されています。専用倉庫はラムルッカ、WHA サラブリ・インダストリアルランド、パンナー・トラッド 18 km、チョンラハーンピット運河など多数の戦略的なエリアに位置しており、合計倉庫面積は 6 万 9,000 m² に及びます。また、WHA グループのビジョンである「究極のソリューション・パートナー」を反映する WHAUP の屋上ソーラー発電設備設置サービスも提供されています。



WHAUPがアナリストとの懇談会を開催

WHA ユーティリティーズ・アンド・パワー株式会社 (WHAUP) のパオピッタヤ・サムットカリン最高財務責任者 (右側) は証券アナリストに対し 2018 年度の決算データを明らかにしました。この発表はタイ証券取引所ビルディングで開催された「Opportunity Day」という催しで行われたものです。同氏は国内における公共インフラ事業の拡張計画と海外事業に関する報告を行いました。また水道事業では供給量 120 m³、電力事業では発電容量 570MW を目標とすることやベトナムの公共インフラ・プロジェクトへの投資についても明らかにしました。



WHAUPがアナリスト・ミーティングを開催

WHA ユーティリティーズ・アンド・パワー株式会社 (WHAUP) のパオピッタヤ・サムットカリン最高財務責任者は先日シェラトン・グランデ・スクムヴィットホテルにおいて 2019 年度事業計画を発表しました。同氏によると、水道事業の供給目標量は 120 m³ とし、電力部門では事業規模が 570 メガワットに拡大されます。また、新規事業として 2019 年第 2 四半期に完成するイースタン・シーボード工業団地 4 で天然ガス小売事業が開始されます。すでに 2018 年 12 月に WHA イースタン・シーボード NGD2 プロジェクトが正式開業し、ベトナムにおいて公共インフラ・プロジェクトも進められています。



カスタマーニュース

キャニオン・アジア (タイランド) 社が 新工場の起工式を開催 WHAイースタン・シーボード工業団地2で

革新的な引き金式噴霧器 (スプレイヤー) とディスペンシングシステムの設計・製造を行う世界的リーダー企業、キャニオン・グループの子会社であるキャニオン・アジア (タイランド) 社は先日、チョンブリ県にある WHA イースタン・シーボード工業団地 2 (WHA ESIE 2) に建設される工場の起工式を開催しました。高い性能を備える新工場が完成すると、キャニオン社は特許技術を用いた高品質のトリガー式スプレイヤーを産業市場と消費者市場に供給できるようになります。



写真は、起工式に出席したWHAインダストリアル・ディベロップメント株式会社のラッダ・ロジャナウィライウッド工業顧客開発担当副社長 (前列右から3人目) がキャニオン株式会社の佐藤奈緒子代表取締役社長兼グローバルCEO (前列中央) にお祝いの言葉を述べているところ。

CSR

WHAグループがラヨーンのジョンボン・チャオブラヤ区で インフルエンザ予防接種を実施

WHA グループは先日ラヨーンのジョンボン・チャオブラヤ区の住民 400 名を対象にインフルエンザ予防接種を実施しました。会場では住民が病気に感染するリスクを最小限に抑えられるよう、医療チームが住民に予防接種を行いました。WHA コーポレーション株式会社のシヤバス・チャンタチャイロート法人マーケティング担当取締役と WHA インダストリアル・ディベロップメント株式会社のチームも現場に立ち会って支援作業にあたりました。WHA グループの CSR 活動の目的の一つは、地域社会における健康と幸福を促進することです。



WHAグループの移動医療チームが ラヨーンのタシット地区を訪問

WHA コーポレーション株式会社のシヤバス・チャンタチャイロート法人マーケティング担当取締役は同社の医療チームを率いてラヨーン県タシット地区に住む健康問題を抱えている高齢者を訪問しました。WHA グループの工業団地周辺に位置する地域社会のための CSR 活動の一環として 90 個のケアパック、車椅子 1 台、基本的な医薬品と医療用品が地域住民に提供されました。これは地域住民が健康に留意して生活の質を改善できるようにすることを目的としたものです。



The 10th WHAの工業団地

WHA

イースタン・シーボード工業団地

ロボット、航空、物流及び次世代自動車産業を
ターゲットとする東部経済回廊 (EEC) 域内投資奨励ゾーン

- 自動車・ハイテク・航空宇宙・消費財産業およびその他製造業にとつてのロケーション
- レムチャパン 深海港至近
- イースタン・シーボード工業団地 (ラヨーン) および WHA イースタン・シーボード工業団地1まで10km
- 国道344号線まで8km



WHA Industrial Development Plc.
T. 662 719 9555 www.wha-industrialstate.com
Email: marketing@wha-group.com